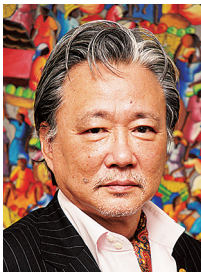


やめてんか「都」構想 いりまへん維新政治 私の一言

ウソと詭弁と無責任

政治団体「民意の声」代表

浅野秀弥さん



私は橋下氏が知事になる時にかつぎ出した者ですが、4月の地方選、5月の「住民投票」に向け反維新運動をしています。

彼は知事時代、府が地方債発行時に国の許可が必要な起債許可団体になったのに、一般会計から繰り入れ全部黒字にしたと

言いました。「大阪都」構想も「都」にはならない。4千億円という効果額も実際1億円。それどころか移管経費だけで1千億円から2千億円と算定され、大阪の企業や個人負担は1兆数千億円に上るでしょう。

平気ですをつき、ばれたら詭弁で煙に巻き、話題をつくって注目を受ける。彼がやってきたのは市民目線の政策でなく、選ばれたのだからと何でもやる独裁政治。そして職員の言論統制。今は戦時中ですか？

一番許せないのは責任をとらないこと。嘘で「都」構想への賛成票を取り、言いっ放し、やりっ放し。最後の責任は市民になすりつける。こんな人間、政界にはいない。

経済効果はマイナス

カジノ問題を考える大阪ネットワーク事務局長

藪田ゆきえさん



02年まで高校の教師をしていましたが、昨年、50歳になった卒業生から「夫がパチンコでサラ金からかなりの借金をしている」と相談を受けました。厚労省が日本にギャンブル依存症が536万人いると発表しましたが、その多さに驚くとともに、

何の対策もとらない政府に怒りを感じています。

橋下市長は大阪市をつぶし、府に吸い上げた財源でカジノを夢洲につくると言っています。カジノで経済活性化すると言いますが、雇用や開発にともなう経済効果とともに、家庭崩壊、犯罪、勤労意欲の低下などによる負の経済効果を考慮すると、結果はマイナスになるという計算も、アメリカのデータで公開されています。

ギャンブル依存症は自己責任だと思っていましたが、脳の病気だということも知り、たばこやアルコールは一定の規制があるのに、なぜパチンコははまり放題にされているのかと疑問に思います。「カジノは『都』構想の試金石」と言う橋下市長。住民投票でノーの結果を出したいです。